

省力的・効率的な生産体制の整備などによる農林水産業の強化プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

I C Tを活用した高収益で安定的な生産体制の整備や担い手となる人材の育成・確保、労働負担の軽減や労働力不足解消に向けたスマート農業の推進などの取組を展開し、農林水産業の更なる強化を図る。

施策

■ 高収益で安定的な生産体制の整備

- 農林水産業に係る生産基盤の整備推進
- 地域に適した輪作体系の確立及び生産性向上・低コスト技術の開発と普及促進
- 病害虫対策の研究の推進や抵抗性品種の普及拡大
- 自給飼料増産対策及び公共牧場の活用を含めた放牧の推進
- I C Tの活用等スマート農業の推進や作業の外部委託・組織化による農業経営の効率化
- クリーン農業、有機農業などの環境保全型農業、G A P等の普及拡大と耕畜連携の推進
- 「伐ったら植える」の徹底等やドローン等I C T技術を活用した森林資源の適切な管理の推進
- 機械化や作業システムの見直し等による森林施業の低コスト化
- 屋根つき岸壁、取排水施設など衛生管理に配慮した漁港整備の推進
- 海域の特性に応じた栽培漁業の推進

■ 担い手の育成・確保

- 地域の大学等との連携による農林水産業の担い手の育成・確保
- 地域農業や地域づくりのリーダーの育成及び女性農業者の参画促進
- 担い手への農地集積や法人化・協業化等の一体的な推進

■ オホーツク産木材・木製品の利用促進

- オホーツク産木材・木製品の首都圏などでの利用促進
- 集成材や乾燥製材などの加工・流通体制の確立と新技術・新製品の实証・普及
- 木育活動を通じた森林づくり・木材利用の理解促進

K P I

□ ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の作付割合	52.3% (R2)	→	78.9% (R7)
□ 網走東部流域における森林伐採面積以上の造林面積の確保	0.74 (R1)	→	1.00 (R7)
□ 建築材等の出荷量	45.5m ³ (R2)	→	51.9m ³ (R7)
□ 地域住民との協働による森林づくり参加者数	9,907人 (R1)	→	10,400人 (R7)
□ 衛生管理型漁港の整備	4港 (R2)	→	6港 (R7)

豊富な農水産物を活かした食関連産業の振興プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的	多様な主体の連携を促進し、地域の農水産物を活用した新たな製品の開発や付加価値の向上、起業・創業に向けた取組を強化するとともに、国内外へ販路を拡大するなどして、食関連産業の振興を図る。						
施策	<ul style="list-style-type: none">■ 多様な主体の連携促進<ul style="list-style-type: none">○ 産学官金の連携によるオホーツク地域の食関連産業人材の育成や食のブランド力の強化○ 農商工連携や6次産業化の推進 ■ 付加価値の高い商品の開発や起業・創業の促進<ul style="list-style-type: none">○ 地域の農水産物を活かした起業・創業の促進や雇用の創出○ 全国有数の生産力を誇る小麦、玉ねぎなどの農畜産物の高付加価値化○ 地域の大学や研究機関などとの連携による加工・鮮度保持技術等の開発 ■ 良質な農水産物の販路拡大<ul style="list-style-type: none">○ 観光とも連動した食の地域ブランドの形成・発信○ オホーツクフェアの開催などによる道内外への販路の拡大○ 安全・安心なオホーツク産農水産物のPR、ブランド化などによる海外を含めた販路の拡大○ 食育の推進による地産地消の促進○ E U - H A C C P 認定取得など海外に対応した衛生管理体制の確立○ 加工食品等の輸出に向けた体制の整備						
KPI	<table border="0" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 50%;">□ 「オホーツクブランド認証」新規認証件数</td><td style="width: 50%; text-align: right;">延べ50件以上 (R2~R6)</td></tr><tr><td>□ 農業団体の農畜産物輸出量</td><td style="text-align: right;">1,634 t (H30) → 1,800 t (R6)</td></tr><tr><td>□ E U - H A C C P 取得業者数</td><td style="text-align: right;">7業者 (R2) → 9業者 (R7)</td></tr></table>	□ 「オホーツクブランド認証」新規認証件数	延べ50件以上 (R2~R6)	□ 農業団体の農畜産物輸出量	1,634 t (H30) → 1,800 t (R6)	□ E U - H A C C P 取得業者数	7業者 (R2) → 9業者 (R7)
□ 「オホーツクブランド認証」新規認証件数	延べ50件以上 (R2~R6)						
□ 農業団体の農畜産物輸出量	1,634 t (H30) → 1,800 t (R6)						
□ E U - H A C C P 取得業者数	7業者 (R2) → 9業者 (R7)						

多様な地域資源を活かしたオホーツク地域への来訪促進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

オホーツク A I 活動と連動してその魅力を道内外へ効果的に発信するとともに、オホーツクの優位性を活かした新しい旅行スタイルを推進する。
さらに、冷涼な夏や日照率が高いという気候特性を活かし、スポーツ合宿の誘致など、オホーツクへの来訪促進の取組を総合的に展開する。

施策

■ オホーツクの魅力の効果的な発信

- 「オホーツクエリアアイデンティティ（オホーツク A I）」の推進
- 様々な地域資源・特色を活かした取組や管内関係者が一体となった情報発信の推進
- 古代遺跡群を体験する機会の創出や効果的な情報発信
- オホーツクの優れた自然環境や農林水産物など食と観光の一体的な観光 P R の推進
- 市町村や関係団体等との連携による国内外への観光プロモーションの展開

■ 外国人観光客の受入体制づくりに向けた取組の推進

- 管内の多言語マップの作成や観光地等における多言語での情報提供の促進
- 北海道知床世界自然遺産条例に基づく知床の保全や適正な利用の推進
- 市町村や関係機関等との連携によるインバウンド誘客の取組の推進

■ 体験型・滞在型観光の推進

- 「国の広域観光周遊促進事業」などとの連動による地域資源を活用した観光ルートづくり
- 優れた自然環境や農林水産業、食、オホーツクの特性を活かしたアドベンチャーツーリズムなどを取り入れた体験型・滞在型観光の推進

■ スポーツ合宿などの誘致に向けた取組の強化

- 市町村や民間企業と連携した情報発信や協議会活動の強化
- 共同プロモーションによるスポーツ合宿誘致活動の強化

■ 公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進

- 関係者間の連携や地域の意識醸成による公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進
- 利便性の高いシームレスな交通サービスの充実
- 国際線など新規航空路線の誘致に向けた取組の推進

K P I

<input type="checkbox"/> 「オホーツク地域に行ってみたい」と考える人の割合	64.9% (R2)	→	70.0% (R7)
<input type="checkbox"/> 観光入込客数	885.1万人 (H30)	→	988.0万人 (R6)
<input type="checkbox"/> 管内のスポーツ合宿実施件数	429件 (R1)	→	増加させる (R7)
<input type="checkbox"/> 管内空港利用客数	32.1万人 (R2)	→	116.2万人 (R6)

オホーツク地域への人口定着の推進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的

オホーツクの豊かな農林水産資源を活かした地域産業力の向上や、地域情報の発信、優れた自然環境をはじめとした多様な地域資源などを活かすことにより、オホーツクの魅力を向上させ、産業・雇用の創出をはじめ、関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進を図る。

施策

■ 移住・定住の促進に向けた取組の推進

- 地域の特色を活かしたワーケーションなどによる関係人口の創出・拡大や移住・定住の促進に向けた取組の推進
- 移住・定住関係機関と連携した魅力ある地域情報の発信

■ 担い手の育成・確保（再掲）

- 地域の大学等との連携による農林水産業の担い手の育成・確保
- 地域農業や地域づくりのリーダーの育成及び女性農業者の参画促進
- 担い手への農地集積や法人化・協業化等の一体的な推進

■ 若年層の地元定着促進に向けた取組の推進

- 市町村や関係団体と連携した「オホーツク愛」の醸成に向けた取組の推進
- 地元企業展示会などによる新規学卒者等の地元就労、離職防止及び職場定着の推進
- 地域の農水産物を活かした起業・創業の促進や雇用の創出【再掲】

■ 公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進（再掲）

- 関係者間の連携や地域の意識醸成による公共交通の利用促進や維持・確保に向けた取組の推進
- 利便性の高いシームレスな交通サービスの充実
- 国際線など新規航空路線の誘致に向けた取組の推進

KPI

- | | | | |
|--------------------------------|------------------|---|---------------------|
| □ 新規高卒者の管内就職内定率 | 67.7% (R2) | → | 75.0% (R6) |
| □ 「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と考える人の割合 | 66.2% (H28～R2平均) | → | 71.8%を上回る (R3～R6平均) |

豊かで優れた自然と共生する脱炭素型の地域づくり推進プロジェクト

【推進エリア】オホーツク連携地域

目的	オホーツク地域が誇る豊かで優れた自然環境を保全し、次世代に継承するとともに、バイオマス資源などを有効に活用した再生可能エネルギーの利活用、森林の適切な整備や森林資源の循環利用などを推進することにより、自然との共生を図りながら、持続可能な脱炭素型の地域づくりを進める。																
施策	<p>■ 豊かで優れた自然環境の保全と継承</p> <ul style="list-style-type: none">○ 北海道知床世界自然遺産条例に基づく知床の保全や適正な利用の推進（再掲）○ 知床世界自然遺産の登録地域へのマイカー等の乗入規制による環境負荷の低減○ オホーツク流氷トラスト運動等を通じた環境保全活動の普及啓発○ エゾシカ捕獲の推進やヒグマによる人身被害等の防止 <p>■ 地域資源を活かした「ゼロカーボン北海道」の推進</p> <ul style="list-style-type: none">○ 管内市町村のゼロカーボンシティの表明促進○ 脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルへの転換に向けた普及啓発○ 林地未利用材や家畜排せつ物を活用したバイオマスや太陽光など再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消の推進○ バイオマス利用に向けた研究・開発への連携・支援○ 「伐ったら植える」の徹底等やドローン等ICT技術を活用した森林整備の適切な管理の推進（再掲）○ 森林づくり・木材利用の理解促進																
KPI	<table><tr><td>□ ゼロカーボンシティ表明市町村数</td><td>0市町村（R2）</td><td>→</td><td>9市町村（R7）</td></tr><tr><td>□ 新エネルギー発電設備容量</td><td>27.1万kW（R2）</td><td>→</td><td>48.0万kW（R7）</td></tr><tr><td>□ 間伐の実施面積</td><td colspan="3">2,437ha/年（R3～R7）</td></tr><tr><td>□ エゾシカ捕獲目標達成率</td><td colspan="3">100.0%（R3～R7）</td></tr></table>	□ ゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町村（R2）	→	9市町村（R7）	□ 新エネルギー発電設備容量	27.1万kW（R2）	→	48.0万kW（R7）	□ 間伐の実施面積	2,437ha/年（R3～R7）			□ エゾシカ捕獲目標達成率	100.0%（R3～R7）		
□ ゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町村（R2）	→	9市町村（R7）														
□ 新エネルギー発電設備容量	27.1万kW（R2）	→	48.0万kW（R7）														
□ 間伐の実施面積	2,437ha/年（R3～R7）																
□ エゾシカ捕獲目標達成率	100.0%（R3～R7）																